

モニタリング報告書(継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助)

受給者証番号	4021778826	利用者氏名(児童氏名)	佐藤 拓朗 様	障害支援区分	区分5	保護者(児童)または後見人	佐藤 幸 様	本人との続柄	母
利用者負担上限額	0	相談支援事業者名	指定特定相談支援事業所 わかば	電話番号	080-6288-8300	計画作成担当者	齊藤美香		
計画作成日	令和5年10月12日	モニタリング実施日	※面談日又は同意署名日を記載		令和6年9月26日	利用者同意署名欄			
モニタリング実施方法	①個別支援会議開催			②その他					
①個別支援会議開催	②その他	(参加機関等)		(実施方法及び理由)					

総合的な援助の方針(本人がめざす生活に沿った支援の方針)	全体の状況(総合的な援助の方針に対する取り組み経過、評価、今後の取組の方向性)
自立に向けて生活力が向上するよう支援します。	生活介護(青葉園)では活動場所を変更してからは落ち着いて過ごすことが出来ている。ウォーキング大会に出ることが目標で作業より運動活動が好きで参加をされているとのこと。作業については内職作業をされている。10分～15分程度集中して作業をすることが出来ている。余暇時間ではパズルや色塗り、散歩やドライブを楽しまれている。気に入らないことがあると窓からごみを外に捨ててしまう行動や、指の皮を剥いてしまうことがあるが最近は職員の声掛けで事前に止めることが出来ている。共同生活援助(大船宿舎)では不安定になることなく自分のペースで過ごされているとの事。水分補給については水筒に決まった量を準備し小分けにして提供。

優先順位	支援目標 (達成目標)	達成時期	サービス等提供状況 (事業者からの聞き取り) ※いつ、だれに、どのように確認したのかも併せて記載	本人の感想・満足度 ※いつ、だれに、どのように確認したのかも併せて記載	支援目標(達成目標)の達成度 (ニーズの充足度)	今後の課題・解決方法 (いつ誰が何をするか)	計画変更の必要性			その他留意事項 (計画変更の必要性「有」の場合には具体的な変更内容・理由も記載)
							サービス 種類の変更	サービス 量の変更	週間計画 の変更	
1	本人の特性に合った対応を行うことで精神的な安定を図り落ち着いて活動できるように支援します。	1年後	GHでは、食事の時間を拓朗さん、ただずらして食べてもらうなどで、トラブル抑止を図っている。青葉園では、個別の対応を行い落ち着いて活動が出来る様の環境を作っている	外泊時はパニック状態になると、嘔みつくなどの行動がある。特に娘様に集中しているため、その際は娘様が自室に施設し落ち着くまで避難をしている。	支援者の配慮によって落ち着いて過ごすことが出来ている。	他者への関心が強く拘りにならないよう注意していく必要がある。また、環境整備により落ち着いて過ごすことが出来るが今後何に興味や関心を持たれるか分からないため柔軟で迅速な対応が必要である。	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	
2	家族以外の方と生活し関わることで生活力を身に付けていけるようにしていきます。	1年後	GHで夜はほとんど起きてこないが、夜中大声で痛みをうったられる方がいて、その声によりパニック状態になることがある。青葉園より帰宅後は自室で過ごすことが多くテレビを観るなどしている。人との付き合いを難しい。対角線状の歩きをすることもある。	何かをしてほしいなどを伝える時には、タッチすることで、相手に伝えようとしている	他利用者様に要求を伝えようとするところがある。その時はその利用者様に対応しないようにしてもらっている。	食事の時間やイベント時などで配慮が必要である中でも本人が落ち着いて、本人のペースで過ごせる環境を維持し提供をする	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	
3	色々と関わることや様々な経験をする中で、社会性を身に付けていく	1年後	大きい音などに強く反応しパニック状態になることが多いられるため、個別の対応を行っている(青葉園・大船宿舎)	外泊時家では気ままな時間を過ごしている。	日々の生活の中で様々な体験をすることで社会でのルールやマナーを学ぶ機会の提供は出来ている。	日々の生活の中で様々な体験をすることで社会でのルールやマナーを学ぶ機会の提供は出来ているが継続して支援が必要	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	日中一時のサービス利用はなし
4	身体を動かすことで体調管理と本人の精神的状態の安定を図る	1年後	運動活動に積極的に参加され近隣散歩などを楽しまれている。季節の花や雰囲気を楽しむよう支援をされている。	土・日は外泊をしている。土曜日は自宅で過ごし、日曜日は家族と外出するしたりしている	土曜日に行動援護を利用することで、外泊時の生活を充実させる	出来るだけ早く行動援護が開始できるようにしていく	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	

次回モニタリング実施月	令和7年3月
-------------	--------